

ソフトバンク・テクノロジー株式会社

第2四半期株主通信

2015.4.1—2015.9.30



情報革命で人々を幸せに

～技術の力で、未来をつくる～

SoftBank
Technology

TOP MESSAGE

トップメッセージ

株主の皆さまへ

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは「情報革命で人々を幸せに～技術の力で、未来をつくる～」という経営理念のもと、コーポレートスローガン「One! SBT」を掲げ、従業員一丸となって「大きく成長すること」を目指しております。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。ここに、第28期（2016年3月期）第2四半期の事業の概況についてご説明させていただきます。

第2四半期業績は、通期目標に対し順調に進捗

売上高は計画値を上回り前年同期並みを確保、営業利益は前年同期比13.5%の増益となりました。9月末の受注高は95億円と同28億円増となり、通期目標に対し、順調に進捗しております。

サービス別売上高では、デジタルマーケティング分野が伸長し、形態別売上高では、運用・サービスが拡大しました。

3つのサービス分野における 3つのキードライバー（注力事業）

デジタルマーケティング分野は、ECサービス、フォントサービスが好調に推移し、また、キードライバーのデータアナリティクスが過去3年にわたり、対前年同期を大きく上回って進捗し、当第2四半期の売上高は50%近い伸びを示しました。

プラットフォームソリューション分野は、ソフトバンクグループ向け機器販売が減速している一方、監視・運用保守・サポートなどのストックビジネスが着実に拡大しております。当分野における成長のキードライバーであるセキュリティソリューションは、新サービスを拡充し今後の飛躍に向け、準備を進めている状況です。

前期まで好調に業績を伸ばしてきたシステムインテグレーション分野は、ソフトバンクグループ内のプロジェクト完了に伴い、全体の売上高は減少しました。一方で、事業成長のキードライバーとしてグループ外向けに展開するマイクロソフトソリューションの販売は順調に積み上がり、延べ500社、80万ユーザー以上のお客様が当社を通じて

代表取締役社長 CEO

阿多親市

利用いただくまでになりました。メールシステム以外のクラウド利用に備え、当社開発サービスをアドオンするソリューション提供も開始しており、今後の展開が楽しみな状況になってきております。

また、ソフトバンクの法人営業との関係も強化が進んでおります。さらに、当社独自のノウハウを活用し、3つの注力事業における各サービスをクラウド上で組み合わせた公共ビジネスにも進展が見られました。今後はこうしたサービスの融合に、IoTやロボット分野など先端テクノロジーの利用を加え、国家成長戦略の一助になりたいと考えております。

プロジェクト管理体制の強化も進展し 大型不採算案件0件に

前期に大型の不採算案件が発生したことを受けて、この1年、「プロジェクト管理体制の強化」を進めてまいりました。昨年、わずか8名だったプロジェクトマネジメント（PM）に関する国際資格PMP®取得者は、4倍の32名にまで増え、プロジェクト種別に応じた適任PMをアサインする最適チームを構築できるようになりました。また、工程別に採算面・スケジュール面から細かく進捗を確認する第三者チェック体制、早期支援体制が機能し始めたと感じております。キャリアが長く、経験値の高い従業員もPMPを取得することで、暗黙知であった経験が社内で明確な知識・言葉として伝えられるようになり、よりマネジメントの質を向上させております。今期末までにPMP取得者を50名にまで拡大し、さらに強固な体制へと進化させてまいります。

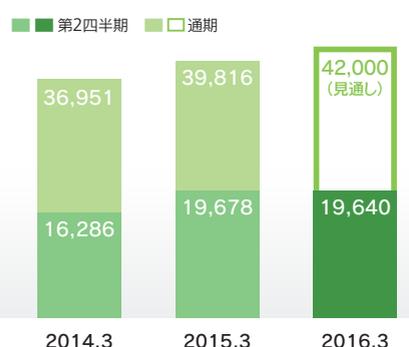
FINANCIAL HIGHLIGHTS

決算ハイライト

- ➔ 売上高は、機器販売が大きく減少したが、事業の構造改革の進展により運用保守や自社サービスにおいて増加し、過去最高であった前年同期並みの196億円を確保
- ➔ 限界利益は、54億円で前年同期比6.7%増、限界利益率は27.7%で前年同期比1.8ポイント向上
- ➔ 限界利益率の向上がM&Aや人員増による固定費の増加をカバーし、営業利益は前年同期比13.5%の増益を達成

売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



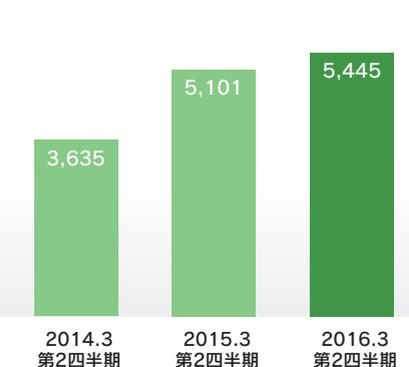
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

(百万円)



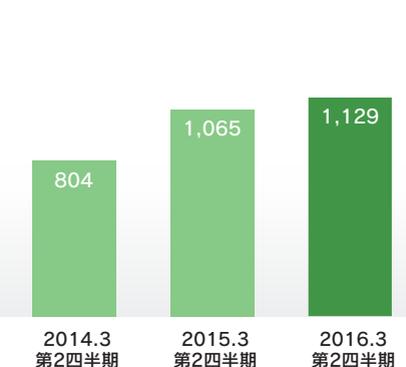
限界利益

(百万円)



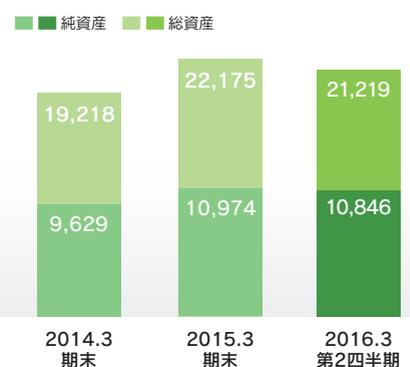
EBITDA*

(百万円)



純資産/総資産

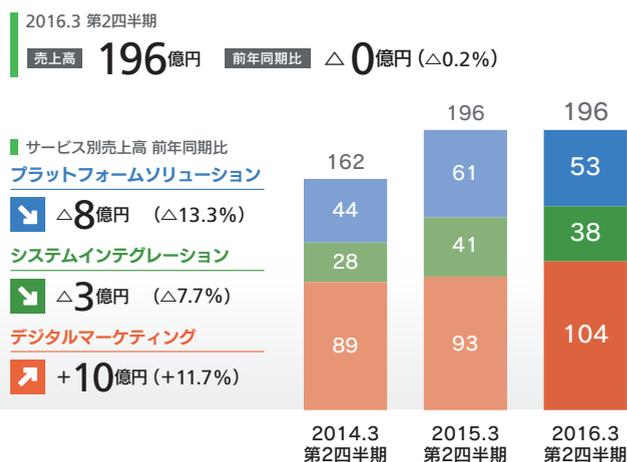
(百万円)



*EBITDAは「営業損益+減価償却費+のれん償却費」で算出しております。

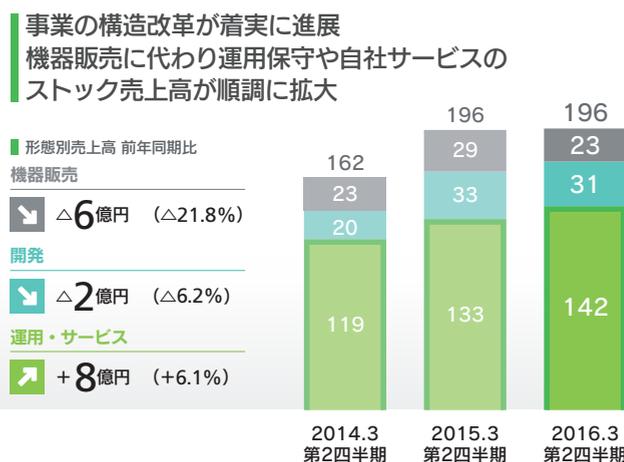
サービス別売上高

(億円)



形態別売上高

(億円)



注力3事業の進展

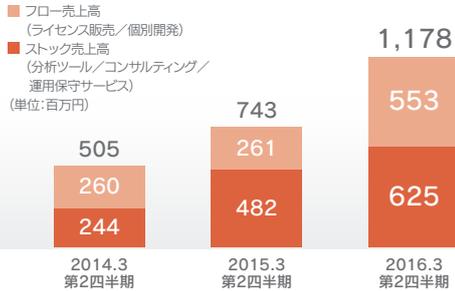


データアナリティクス

ストック売上高

6億円 前年同期比 +1.4億円 (+29.7%)

Adobeツール、CMS案件の大型化が進み売上増



SBTの強み

設立当初からのインテグレーション事業で培った経験と、2000年からのアクセス解析事業による攻めのデータ活用ナレッジで、対極的な両面の経験によりお客様の事業堅守・拡大を支援します。

各業界における高度な専門性を備えたデータサイエンティスト

ウェブアクセス解析、広告効果測定、ログ分析等豊富な実績とノウハウ

開発・構築からデータ解析まで一貫して対応が可能

主要な顧客

- 製造業**
日本電産株式会社様等
- 小売・サービス業**
アスクル株式会社様、株式会社ニッセン様等
- 公共・教育**
株式会社ビジネス・ブレイクスルー様、その他公共機関等

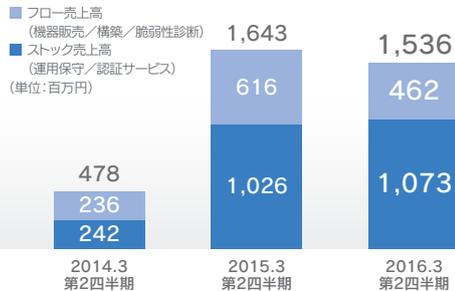


セキュリティソリューション

ストック売上高

10億円 前年同期比 +0.4億円 (+4.6%)

McAfeeやImperva製品が好調、ストック売上高は堅調に推移



SBTの強み

設立当初からネットワークセキュリティ分野で培った経験と、最新技術や自社サービスの社内導入によって蓄積した専門知識で、リスクへの対応策を導き出し、お客様の安全なビジネスを支援します。

攻撃手法や緊急対応に精通した専門家、運用サポートのプロフェッショナル

15年以上にわたり対応してきた実績とノウハウ

開発からデータ解析まで対応可能な包括的セキュリティのソリューション

主要な顧客

- 金融業**
福岡ひびき信用金庫様等
- IT情報通信業**
株式会社セガ様等
- 公共**
国立研究開発法人産業技術総合研究所様等

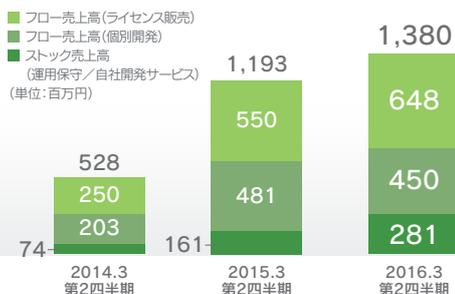


マイクロソフトソリューション

ストック売上高

2.8億円 前年同期比 +1.2億円 (+74.6%)

Office 365 及び自社サービスが好調、ストック売上高が堅調に増加



SBTの強み

2009年からのマイクロソフト社クラウド製品の取扱い実績をもとに、クラウドサービスの導入支援やセキュリティ対応、クラウド上のシステム開発から運用・監視まで、お客様のクラウド利活用を支援します。

国内エンタープライズ企業へのOffice 365 導入実績No.1

マイクロソフト社クラウド製品と連携可能な多数の自社サービス

製品に関する専門性、顧客ニーズに応える高い技術力と開発力

主要な顧客

- 製造・建設**
カルソニックカンセイ株式会社様、鹿島建設株式会社様等
- 小売・サービス業**
株式会社ニトリ様、ブックオフコーポレーション株式会社様等
- 公共・医療**
医療法人鉄蕉会亀田メディカルセンター様、その他公共機関等

注力事業を融合した市場優位性の高いプロジェクトが進行中

各事業で提供している独自サービス・技術力・経験・ノウハウを集結し、クラウド上で融合展開するビジネスが進捗しています。その1つが「全国農地ナビ」です。各市町村の農業委員会が整備する農地台帳に基づく農地情報を電子化・地図化し、全国一元情報として公開するシステムで、国の成長戦略主要施策の1つ「農林水産業における『攻めの経営』の確立」に向け、農地中間管理機構による農地の集積・集約、遊休農地の削減、効率のよい農業への移行を加速させるサービスになると期待が高まっています。



全国農地ナビ

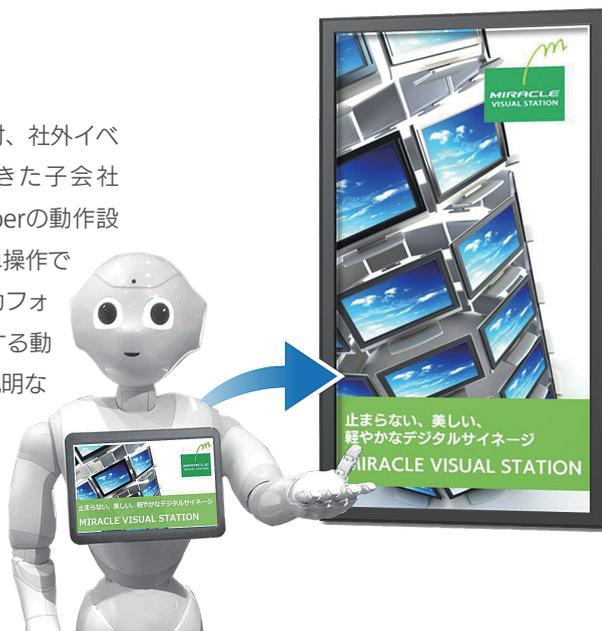
全国の農地情報をクラウド上で一元管理するシステム構築プロジェクトが始動

▶ 先端テクノロジー利用事例

ロボット分野

ロボット「Pepper」の動作を自在に設定する「Smart at robo for Pepper」を発表

「Pepper」の導入コンサル、外部システムとの連携、教育や企業受付、社外イベントなどの領域で、20種類以上のアプリケーションを開発してきた子会社M-SOLUTIONSが、企業でのロボット活用に向けて、自由自在にPepperの動作設定を行える「Smart at robo for Pepper」を9月に発表しました。「簡単操作であなただけの Pepper 動作を」をサービスコンセプトに、セリフを入力フォームに登録し、動作指定アイコンを選択し、胸のディスプレイに表示する動画や画像を指定するだけで、新たな開発なしにアンケート収集やFAQ説明など、Pepperに意図した動作を指定することを可能としています。また、同じく子会社のミラクル・リナックスとM-SOLUTIONSが協働し、Pepperディスプレイ（10インチ画面）とデジタルサイネージとを連携させ、画像や動画を表示する技術開発にも成功しています。



IoT分野

「ドローン&クラウドを活用したソーラーモジュール検査サービス」をスタート

2015年7月に設立したセキュアドローン協議会の会員企業4社で「ドローン&クラウドを活用したソーラーモジュール（太陽電池パネル）検査サービス」の共同開発を進めています。義務化への動きが進んでいるメガソーラー定期検診のスタートに向け、赤外線カメラを搭載したドローンの機器認証と自動航行制御、IoTクラウドでの管理データのビッグデータ化・解析を行い、ソーラーモジュール検査の時間短縮、省力化及びコスト削減の実現を目指す実証実験を開始しました。各社が持つ、セキュリティ技術、IoTクラウド/組込ソフトウェア関連技術、ソーラーO&M（オペレーション&メンテナンス）システムといったICT関連技術の知見と経験を生かし、社会に役立つサービスとして、2016年4月の提供開始を目指しています。



▶ 経営方針と進捗

ECサービスやソフトバンクグループ内の情報システム支援を中心とした従来の事業形態を変革するために、キードライバーを設けて大きな成長を志向してきました。今後はキードライバーをクラウドに移行させ、より一層の収益を生み出せる体制を築いてまいります。



会社概要

(2015年9月30日現在)

商号	ソフトバンク・テクノロジー株式会社
本店所在地	東京都新宿区新宿六丁目27番30号
事業所	新宿オフィス(本社)、汐留オフィス、 汐留開発ベース、大阪支社、名古屋オフィス、 福岡支社、福岡開発センター、台湾支店
事業内容	ICTサービス事業
ホームページ	http://www.softbanktech.co.jp/
資本金	653百万円
従業員数	連結861人 単体630人
主な子会社	M-SOLUTIONS株式会社 フォントワークス株式会社 株式会社環 サイバートラスト株式会社 ミラクル・リナックス株式会社

役員

(2015年9月30日現在)

代表取締役社長 CEO	阿多 親市	常勤監査役※	上野 光正
取締役	長田 隆明	監査役※	廣瀬 治彦
取締役	青木 克志	監査役※	中野 通明
取締役	佐藤 光浩	監査役※	三村 一平
取締役	後藤 行正		
取締役	吉田 剛		
取締役※	三木 雄信		

※社外取締役、社外監査役

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金基準日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL.0120-288-324(フリーダイヤル)
上場取引所	東証第一部(コード番号 4726)
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による掲載ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 http://www.softbanktech.co.jp/

お知らせ

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきまして、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- (特別口座管理機関 連絡先)
三菱UFJ信託銀行 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL.0120-232-711(フリーダイヤル)
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行本支店、みずほ銀行本支店およびみずほ証券本支店でお受けいたします。

ソフトバンク・テクノロジー株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿六丁目27番30号 新宿イーストサイドスクエア 17階
TEL 03-6892-3050(代表)
URL http://www.softbanktech.co.jp/
お問い合わせ先 管理統括 管理本部 経営企画部
MAIL sbt-ir@tech.softbank.co.jp

株式の状況

(2015年9月30日現在)

発行可能株式総数	42,560,800株
発行済株式の総数	10,676,900株
株主数	4,121名

大株主

(2015年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
ソフトバンクグループ株式会社	5,367,500	55.25
ザバンク オブ ニューヨーク -ジャスディック トリーディー アカウント	240,500	2.48
シービーエヌワイ チャールズ シュワツ プ エフビーオー カスタマー	211,700	2.18
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	198,200	2.04
ビービーエイチ フォー フィデリティ ロー プ ライスド ストック ファンド(プリンシパ ール セクター サポート フォリオ)	142,400	1.47

※持株比率は、自己株式(961,890株)を控除して計算しています。

※ダルトン・インベストメンツ・エルエルシーから、2015年4月3日付で提出された大量保有報告書の変更報告書により、同社が当社株式730,600株を保有している旨の報告を受けております。しかし、当社として当第2四半期会計期間末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

所有者別持株比率

(2015年9月30日現在)



VOICE 編集後記

株主の皆さま、いつもSBTの株主通信をご愛読いただきまして、誠にありがとうございます。当社は、現在、注力しているクラウド、セキュリティ、デジタルマーケティングに加えて、3事業の融合やIoTの領域にチャレンジしています。本誌が、「当社のいま」をご理解いただく一助となれば幸いです。引き続き、ソフトバンク・テクノロジーグループをよろしくごお願い申し上げます。



岸 啓介



安部 敦恵



菅 磨里奈



齊藤 竜一

ソフトバンク・テクノロジー株式会社
経営企画部

※記載されている会社名、ロゴ、製品名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
Copyright© SoftBank Technology Corp. All Rights Reserved